

事前評価調書

I 事業概要																																																	
事業名	道路事業（道路改良事業）																																																
地区名	主要地方道 瑞浪大野瀬線																																																
事業箇所	豊田市大野瀬町地内																																																
事業のあらまし	<p>主要地方道瑞浪大野瀬線は、岐阜県瑞浪市から岐阜・愛知県境を越えて豊田市大野瀬町を結ぶ地域間幹線道路である。</p> <p>このうち当該工区は、大野瀬町の集落から国道257号・153号を結び、地域の生活を支える重要な道路となっており、コミュニティバス（稲武地域バス）のルートにもなっているが、幅員狭隘のため車のすれ違いも困難な状況である。また、線形が不良なことにより見通しが悪く、円滑な通行の妨げとなっている。</p> <p>このため、県境を跨ぐ広域的な活動や交流を可能とし、地域活性化と救急・消防活動を支える道路として整備するものである。</p>																																																
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>①山間や離島などの暮らしを支える基盤整備（稲武地域の生活幹線道路整備）</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>																																																
事業費	事業費	内訳																																															
	4.5億円	■工事費3.0億円、■用補費0.3億円、■その他1.2億円																																															
事業期間	採択予定年度	平成27年度	着工予定年度	平成27年度	完成予定年度	平成33年度																																											
事業内容	現道拡幅（2/2車線） L=1.3km W=5.0m																																																
II 評価																																																	
①事業の必要性	1) 必要性	<p>①山間や離島などの暮らしを支える基盤整備（稲武地域の生活幹線道路整備）</p> <p>当地域における生活幹線道路であるが、現道幅員狭益により車のすれ違いも困難な状況である。また視距も悪く、交通安全上の課題がある。</p> <p>これらの課題を解消するため、現道を拡幅し、円滑な通行を確保する道路改良工事を行う必要がある。</p>																																															
	判定	A	<p>A： 現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。</p> <p>B： 現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。</p> <p>【理由】</p> <p>交通の円滑化および安全性確保のため、事業実施の必要性がある。</p>																																														
②事業の実効性	1) 事業計画	<p>事業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地・補償</td> <td>←</td> <td></td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費（億円）</td> <td colspan="3">3.4</td> <td colspan="3">1.1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	工種区分	調査・設計	←→							用地・補償	←		→					工事		←					→	事業費（億円）		3.4			1.1			
			H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33																																								
	工種区分	調査・設計	←→																																														
用地・補償		←		→																																													
工事			←					→																																									
事業費（億円）		3.4			1.1																																												
2) 地元の合意形成	近隣の住民に対して、事業説明会を開催し、地元の合意形成を図っている。																																																
判定	A	<p>A： 事業計画の実効性が期待できる。</p> <p>B： 事業計画の実効性が期待できない。</p> <p>【理由】</p> <p>円滑な事業執行環境が整っており、計画の実効性が確保されているため。</p>																																															

Ⅲ 対応方針	
事業実施が 妥当である	事業実施が妥当である。：上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。
Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容	
<p>■対象（事業完了後5年目） □対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>【主な評価内容】</p> <p>道路の拡幅による交通の円滑化状況。視距確保による交通安全性の向上状況。</p>	